

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

へ一 般▽紋章学辞典(館内閲覧)▽森譲▽ヨーロッパの紋章、日本の紋章(森譲)▽エンジェル・フライト(国際霊樞送還士)▽佐々京子▽カウントダウン・メルトダウン(上・下)▽(船橋洋一)▽路(ルー)▽吉田修一▽何者(朝井リョウ)▽a b サンゴ(黒田夏子)▽夜蜘蛛(田中慎弥)▽望郷(湊かなえ)▽新・御宿かわせみ蘭陸王の恋(平岩弓枝)▽孤独放火魔(夏樹静子)▽峠うどん

へ上・下▽(山本一力)▽謎解きはディナーのあとで3(東川篤哉)▽物書き同心居眠り紋蔵「へこたれない人」(佐藤雅美)へ児童書▽動く手づくりおもちゃおはなし小道具(芳賀哲)▽せんろはつづく(鈴木まもる)▽せんろはつづくまだつづく(鈴木まもる)▽おこる(中川ひろたか)▽長谷川義史▽しろくまのパンツ(ツペラツペラ)▽ゆうれい回転寿司(佐川芳枝)▽やぎたみこ▽妖怪温泉(広瀬克也)▽妖怪遊園地(広瀬克也)▽絵本化鳥(泉鏡花)へ館内閲覧▽だいたすきだよ、ぼくのもだち(マッキー・ドイル/スティーブン・ランバート)

今月の1冊



「おこる」

ながかわひろたか作
長谷川義史絵

怒られてばかりのぼく。いやけがさしてひとりの世界へいってみるが、何をしても怒られないのはさびしすぎる。けんちゃんはすぐに怒るし、ぼくも怒ることがある。「なんで人は怒るんだろう」と深く考え一冊。



▽おばあちゃんのたんじょうび(くすのきしげのり)いもとようこ▽日本の川 いしかりがわ(村松昭)▽ほげちゃん(やぎたみこ)▽ツリーハウス(ロナルド・トルマン/マライヤ・トルマン)▽おこる(ながかわひろたか)▽長谷川義史▽ほんとうの南極犬物語(綾野まさる/日高康志)▽にこにこぎゅおとうさんのて(ひだのかな代)▽でてくるぞでてくるぞ(あきびんこ)

■みずうみ読書の家

へ一 般▽白虎の剣(佐伯泰英)▽王道(アンドレ・マルロー)▽沈黙の町で(奥田英郎)▽突破口(笹森陵平)▽欠落(今野敏)▽おもかけ橋(葉室麟)▽あい(高田郁)▽海賊とよばれた男(百田尚樹)▽和菓子のアン(坂木司)▽山靴の画文や(駒村吉重)▽双頭の船(池澤夏樹)▽天翔る(山村由佳)▽人質(佐々木護)

●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●5月休館日

16日・23日・30日・6月6日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎ 76・2100

みずうみ読書の家 ☎ 75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

四月定例会



いつゼロになるのだろうか日かげには

小山のよぶなる雪量に思ふ

春の雨降ってすがしき街路樹の

新芽に透けるけさの朝光

早や咲きの水仙のつぼみふくらみて

寒が続きて冬も忘れし

倒壊のおそれを呈して揺れ軋み

春の嵐に一夜ねむれず

俳句

【あぶた俳句会】

四月定例会

山寺の鈴の音すがし春彼岸

春泥の児等の長靴カラフルに

春泥を飛ばして新車遁走す

うらうらと湾の水面に山がうく

長靴が好きでロビーに春の泥

老農の眼に力春の土

山木 孝

大西 芳子

北島 加代

太田 智

那須 伶子

三瓶 修

矢野 知子

小笠原 勇

井村 育子

菅原 敏子